

1996

平成8年

主な出来事 国内初の商用検索サイト「Yahoo! JAPAN」がサービスを開始／「ポケットモンスター」赤・緑発売
／アニメ「名探偵コナン」の放送開始／スターバックスの日本1号店 出店／森且行のS.M.A.P脱退／当時の総理大臣村山富市（1996年1月11日）／橋本龍太郎（1996年1月11日）



モデル：クソ代



モデル：あかね

日本の女性が着ていた（画像右）
アムラーの大流行

説明不要、安室奈美恵ファッションである。ミニスカート・厚底ブーツ・ロングヘアに茶髪・細眉が特徴。何より新しかったのは、男の好みに合わせるよりも自己表現を重視する傾向が流行したと。アムラーの流行に象徴されるように、この年代は女性がトレンドを引っ張っていた。よって空気があったらよかった。

フリフリアディ
シノラーブーム

アムラーに倣って流行されたシノラーは篠原ともえファッション。テレビ番組で見せる元気でハチンションなキアラがウケ、瞬く間に人気に。ファッションの特徴はカラフルな色使い、キラキラアクセサリーや動物モチーフのポシェットなどを多用していた。子供や女の子に留まらず、男女・年齢を問わないブームになった。

1997

平成9年

主な出来事 大阪ドーム、ナゴヤドームなどの完成／消費税の増税（3%→5%）／モーニング娘。デビュー／初代「たまごっち」の流行／ものけぼの劇場公開／X JAPANの解散／フアンタナ・ファンシーVIIの世界的ヒット／ダイナ元イギリス皇太子妃、パリで交通事故死／世界初のクローン羊開発の成功



モデル：二番照し



モデル：フナガ美

時代はネオとへ、画像右
エンジニア

着物や和柄をデザインしたコンセプトとしたブランド「早天エンジェル」が大人気。系統やジャンルというより、そのブランドならではのものが好んで選ばれた。

いつまでも女子高生じゃられない画像右
コンサバ女子

かつて流行を作った世代が大人になり、ギャルの要素の入ったコンサバ系女子が街に増える。社会現象ももちろん、その世代に合ったファッションを楽しんでいた。

1998

平成10年

主な出来事 和歌山毒物カレー事件／郵便番号が7桁に／初代「iMac」Windows98の発売／写真「写ルンです」のカララーム／Google設立（当時の総理大臣橋本龍太郎（1998年7月30日）／小淵恵三（1998年7月30日））
（生まれた著名人）鈴木香音（8月5日）

とりまうらが世界の中心
コギャル、真つ盛り

正確に言うとコギャルブームは95年からじまっていた。90年代後半は女子高生がトレンドメーカーとして奇抜な色やデザイン・ヘンテコなモチーフの小物などを「カワイイ」と称して肯定するようになる。派生してカングロギャルなども出現。渋谷はカリスマ的存在だった。



モデル：気まかせブリーメン



モデル：ムネあけい

1999

平成11年

主な出来事 福川ストーカー殺人事件（ストーカー規制法の制定に繋がった事件）／AIBO/DVDレコーダー／フーディーなどの発売／「ハリ！ポスター」と賢者の石の日本語版発表／シリーズ第一作「大乱闘スマッシュブラザーズ」の発売／モードのサービス開始／ユーロ導入（生まれた著名人）今川碧海（1月30日）

モデル：野崎奔当



驚異の850万枚販売（画像右）
ユニクロのフリース

ユニクロは当時フリースを1900円という低価格で発売。カラーバリエーションの豊富さもあり、以降の「フリース」ブームを広めていく。

有名ブランドのイブニングドレススタイル（画像左）
裏原ファッションの普及

アパインシング・エナフ、シブリズムなどが若者にドカンとウケた。基本的に大きめサイズが流行る。また、アパインダスの流行からスポーツミックスなども多く見られた。



モデル：二番照しの子



モデル：あけい